

GRS ぎふ

第42号

一般社団法人
岐阜県道路交通安全施設業協会

TEL (058) 273-8566
FAX (058) 275-3620
E-mail: grs@nifty.ne.jp



飛騨古川駅



飛騨市図書館



日枝神社



気多若宮神社

ぎふの未来を支え、 命と暮らしを守る強靱な県土整備



岐阜県
県土整備部長
高木 善幸

一般社団法人岐阜県道路交通安全施設業協会の皆様におかれましては、交通安全対策の推進など、県土整備行政の推進に多大なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

また、平素より、ロードプレーヤー活動、道路標識の清掃奉仕活動などのボランティア活動を積極的に実施いただいているほか、災害時の応援協力協定の締結など、県の重要なパートナーとして多大

なる御支援を賜り重ねて深く感謝申し上げます。

現在、本県におきましては、東京オリンピック・パラリンピックが開催される平成32年を節目として、成長分野の企業立地や交流人口の拡大に取り組む「清流の国ぎふ2020プロジェクト」を進めているところです。このため道路等の社会基盤を預かる県土整備部におきましては、「ぎふの未来を支え、命と暮らしを守る強靱な県土整備」の基本方針のもと、「ひとやしごとを岐阜に呼び込むための社会資本の整備」、「確かな安全・安心に向けた強靱な県土づくりの推進」、「『清流の国ぎふ』づくりの推進」、「社会資本を支えるパートナーの育成・支援」の四つの政策の柱を設け、経済再生・地方創生・民需創出につながる社会資本整備を推進しています。

このうち、交通安全に関する施策としては、平成24年の京都府亀岡市で発生した通学児童が巻き込まれた交通事故等を教訓に通学路の緊急合同点検を実施し、教育委員会、公安委員会、道路管理者等が連携して、歩道整備やカラー舗装などの対策を進め、平成27年度までに県管理道路において道路管理者が実施すべき383箇所の対策を全て完了したところです。更に、平成26年度には県下全市町村で通学路交通安全プログラムを作成し、現在、これに基づき通学路の交通安全対策を継続的に進めるなど、将来を担う学童をはじめ交通弱者を守るための交通安全対策を進めております。

また、人材育成としては、大規模災害時の早期復旧や各種インフラの適切な維持管理など、地域の安全・安心を支えるためには建設業やメンテナンスに関する人材が欠かせないことから、若手や女性技術者をはじめ将来の建設業を担う人材の育成・確保や、社会資本の維持管理に関する高度な専門技術者を養成する取り組みを進めております。

人口減少や高齢化、公共事業予算の削減といった厳しい制約の中で、暮らしの安全・安心を確保し、生活の質の向上や地域経済の持続的発展のため、重要な基盤となる社会資本を戦略的に整備管理していくことが求められており、引き続き、必要な予算確保に努め、関係機関、関係業界との連携のもと、着実に施策を推進したいと考えております。

貴協会並びに会員の皆様におかれましては、変わらぬご理解とご支援を頂きますようお願い申し上げますとともに、貴協会の益々の御発展をお祈り申し上げます。